

平方トランスデューサ

SQTP1-□□□□

■用途

各種直流信号の2乗に比例した直流信号を出力します。

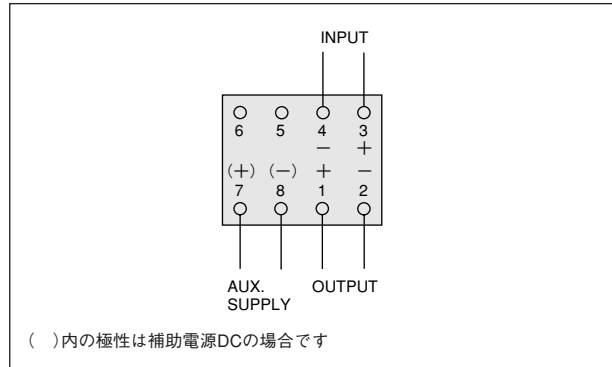
■特長

- 定電圧、定電流出力です。
- 耐電圧は、電気回路一括と外箱間及び入・出力と補助電源間AC1,500V(50/60Hz)1分間また、入力と出力間AC1,500V(50/60Hz)1分間です。
- ±入力は製作できません。
- インパルス耐電圧5kV 1.2/50 $\mu$ s 正負極性各3回(電気回路、外箱間)を保証します。



SQTP1-A8F5  
(80×50×121mm/350g)

■結線図 (外形図はP154図1をご覧ください。)



プラグイン  
トランスデューサ

■仕様一覧

入 力 (入力抵抗または電圧降下)	出 力 (負荷抵抗)	補 助 電 源	共 通 仕 様
A1: DC0~10mV (約1M $\Omega$ ) A2: DC0~50mV (約1M $\Omega$ ) A3: DC0~60mV (約1M $\Omega$ ) A4: DC0~100mV(約1M $\Omega$ ) A5: DC0~1V (約1M $\Omega$ ) A6: DC0~5V (約1M $\Omega$ ) A7: DC0~10V (約1M $\Omega$ ) A8: DC1~5V (約1M $\Omega$ )	C1: DC0~10 $\mu$ A(100mV) ※1 C2: DC0~100 $\mu$ A(100mV) C3: DC0~1mA (約100 $\Omega$ ) C4: DC0~5mA (約100 $\Omega$ ) C5: DC0~10mA (約100 $\Omega$ ) C6: DC0~16mA (約100 $\Omega$ ) C7: DC4~20mA (約100 $\Omega$ ) C8: DC0~10mA (1k $\Omega$ 以下) C9: DC0~16mA (600 $\Omega$ 以下) C10: DC1~5mA (3k $\Omega$ 以下) C11: DC4~20mA (750 $\Omega$ 以下) C12: 上記以外	1: AC100V $\pm$ 10%, 50/60Hz 2: AC110V $\pm$ 10%, 50/60Hz 3: AC200V $\pm$ 10%, 50/60Hz 4: AC220V $\pm$ 10%, 50/60Hz 5: DC24V $\pm$ 10% 6: DC48V $\pm$ 10% 0: 上記以外	許容差: $\pm$ 0.25% ※2 応答時間: 0.5秒以下/99% 消費VA: AC電源 3VA DC電源 4W 質量: AC電源 700g DC電源 350g

※1: 入力10 $\mu$ Aについては回路電圧15V以下です。 ※2: 入力電圧50mV未満、入力電流100 $\mu$ A未満は許容差 $\pm$ 0.5%となります。  
●電流出力の開放: 電流出力端子は常時開放状態で使用しても問題ありません。なお、出力端子には約25Vの電圧が発生します。

●UR-1精密抵抗ユニット(別売)

UR-1は、電圧入力の平方トランスデューサと組合せてご使用下さい。電流入力時平方トランスデューサを活線状態にて交換する際に、オープン対策が、必要な場合は、UR-1をソケットに接続し電圧信号に変換してご使用下さい。(UR-1、抵抗値指定)

●演算式

入力 IB~IM

出力 OB~OM

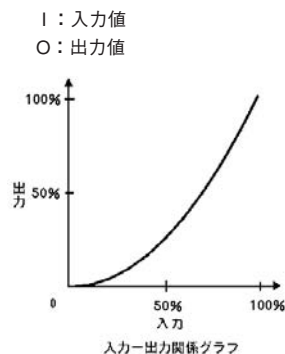
$$O = \left( \frac{I - I_B}{I_M - I_B} \right)^2 \times (O_M - O_B) + O_B$$

IB : 最小入力値

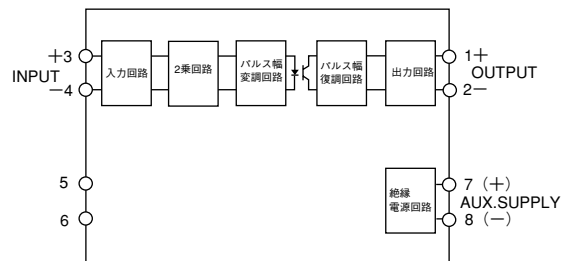
IM : 最大入力値

OB : 最小出力値

OM : 最大出力値



■構成図



■ご注文時の指定事項

●指定事項

